

水島 郁子

高等司法研究科・教授

【研究】

労働時間規制と健康確保に関する小論を公表した。科研費基盤研究(C)に採択され、労災保険に関する研究を本格的に開始した。判例評釈を公表した。

日本労働法学会大会ワークショップ(11月、明治大学)、マックスプランク外国私法国際私法研究所・京都大学大学院法学研究科附属法政策共同センター国際シンポジウム(3月、京都大学)で、報告を行った。

【教育】

高等司法研究科、法学研究科及び法学部において、労働法及び社会保障法の講義や演習を担当した。

法学研究科博士後期課程の学生2名を指導した。そのうち1名は阪大法学に論文を公表し、学振特別研究員の内定を受けた。また、博士後期課程単位取得退学者の指導を続け、同人は博士号の取得に至った。

【管理運営】

高等司法研究科教務委員として、合理的配慮の検討等を行った。

【社会貢献】

日本労働法学会及び日本社会保障法学会の理事を務めた。

全世代型社会保障構築会議委員や厚生労働省の審議会や研究会の委員を務めた。

大阪府労働委員会公益委員として活動した。

豊中市人権文化まちづくりをすすめる協議会委員を務め、6年毎に行う「人権についての市民意識調査」のワーキンググループの一員として、調査票の設計と分析を行った。

労災事案に関し、意見書を提出した。

職場におけるハラスメント事案に関し、熊本日日新聞の取材を受けた。